

令和3年1月の労働市場の動き

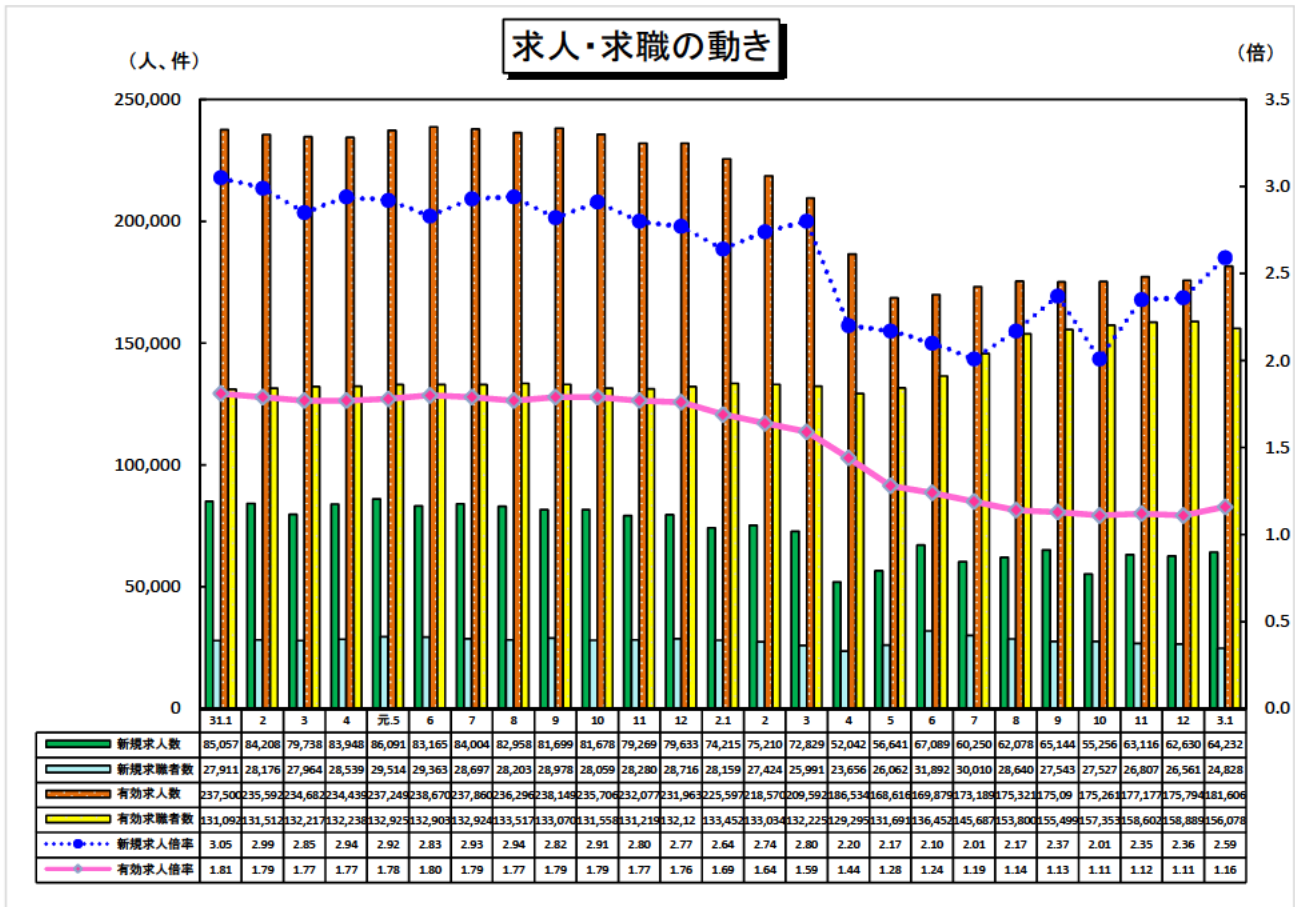
(求人倍率)

- 大阪府の令和3年1月の有効求人倍率(季節調整値)は1.16倍となり、前月より0.05ポイントの上昇となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.59倍となり、前月より0.23ポイント上昇した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.97倍となり、前月より0.05ポイント上昇したが、6か月連続で1倍を下回っている。

(求人・求職の動き)

- 1月の新規求人数(季節調整値)は前月比2.6%増となり、有効求人数(同)は前月比3.3%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比6.5%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.8%減となった。
- 1月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると14.6%減となった。これを主要産業別にみると、**建設業(前年同月比0.4%増)**、製造業(同22.7%減)、情報通信業(同19.8%減)、運輸業、郵便業(同13.3%減)、卸売業、小売業(同23.4%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同19.8%減)、宿泊業、飲食サービス業(同9.3%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同37.2%減)、教育、学習支援業(同30.8%減)、医療、福祉(同7.4%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同20.3%減)と「建設業」は2か月連続の増加となり、その他の産業では減少となった。



(注)各月の数値は季節調整値。R3.2季節調整替。